

2025 年度事業計画書

公益財団法人医食同源生薬研究財団

当財団は、太古より生薬として重宝されてきた農作物や水産物によって人々を元気にし、年をとっても元気澁刺で働ける世に変える、いわゆる「医食同源」の社会実装による新たな社会の構築を目指し、2021 年 4 月 14 日に設立、2022 年 4 月 1 日に公益財団法人の認定を受け事業を行っている。

当財団では、健康に良い、疾患を予防するということが経験的にわかっているものの、その医学的根拠の脆弱性から広い世の中に埋もれてしまっている農水産物由来の食品について、その効果・効能について医学的根拠となる実証的研究を実施・支援し、その結果を広く公知することによって、医食同源の考えに基づく食生活の改善を促進し、もって食を通じた人類の心身の健全な発達や健康の維持に寄与すること、並びに生活習慣病の蔓延による我が国の医療費増大の抑制に、社会実装の実現によって貢献することを事業の目的としている。その目的を果たすべく、2025 年度は財団主導研究、研究助成、貢献者への褒賞、広報活動を行うものとする。

1 財団主導研究

(1) 以下の 3 つのテーマで研究を行う。

- ① 健康人を対象とした玄米サプリメントの継続服用による免疫機能および睡眠の質への影響（東北大学との共同研究。2022 年度より継続）
- ② 育種情報インフラを利用した高タンパク質と良食味を兼ね備えた米の育種と利用法の開発（東京農業大学及び農業・食品産業技術総合研究機構との共同研究。2023 年度より継続）
- ③ 代謝性機能障害に伴う脂肪肝（MAFLD）患者を対象とした玄米サプリメント摂取による脂肪肝改善を検証するプラセボ対照二重盲検ランダム化比較試験（神戸大学医学部附属病院との共同研究。2023 年度より継続）

(2) また、当財団と包括連携協定を締結した地方自治体等（大阪府泉大津市、長野県南箕輪村、島根県安来市、大阪府田尻町、沖縄県宮古地区医師会等、熊本県人吉市）が展開する「食」に関する取組『次世代エイド』の中で、同協定に基づいて住民アンケート調査、健康データの分析・解析等を行い、健康効果の実証を図る。なお、ここで得られたデータ類の蓄積は、将来のメタアナリシス手法による研究実施の布石となるものである。

(3) 上記のほか、当財団が研究するにふさわしいテーマを公募も含めて積極的に探索し、目途がついたものから研究実施計画の策定、プロトコル委員会での審査等を進める。また、新たに包括連携協定の締結を求める地方自治体等に対しては、当財団の実力を勘案しつつ、できるだけ積極的に対応する。

(4) 財団主導研究の研究結果については、以下の方法で広く公知する。

- ① 論文化の上、オープンアクセスジャーナルへ投稿。
- ② 当財団が主催もしくは共催する学会・研究会・シンポジウムなどで発表。
- ③ 一般向けに成果をわかりやすくまとめた上で、出版物もしくは電磁媒体にて公開。

(5) 財団主導研究で取得したデータ等を蓄積し、将来的なメタアナリシスによる新たな研究成果の創出を行えるよう、開発したシステムの運用を行う。

2 研究助成事業

(1) 研究助成

- ① わが日本には様々な知見をもつ優秀な研究者が存在している。そのような研究者に対し、農水産物由来の食品の効果・効能について探索的な研究、作用機序の解明などを目的として研究助成を実施する。
- ② 2025年度においては、助成金総額上限1,500万円、研究1件につき原則として300万円以内、最大5件までとする。2025年度の募集や選考の日程等は、財団ホームページで告知する。

(2) 論文助成

- ① 当財団の事業目的に合致する論文の投稿を支援するため、論文助成を行う。
- ② 2025年度においては、助成金総額上限120万円、論文1件につき15万円、最大8件までとする。2025年度の募集や選考の日程等は、財団ホームページで告知する。

3 貢献者への褒賞

- (1) この褒賞は、医食同源や生薬の分野に関して、とりわけ社会実装の観点から、これまでに高度の研究活動や技術開発、実践（普及活動）することにより生活者に認知される顕著な貢献をした個人又は法人に対して金一封を付して授与するものである。
- (2) 当財団としては、当財団及びこの褒賞が社会全般に認知され、広い世の中から多くの褒賞候補者推薦が集まることが目指す褒賞の姿であるが、現時点ではなおそこに至っていないと考えている。
- (3) このため、2025年度においては、引き続き当財団及びこの褒賞の認知度を高める努力を続ける。

4 広報活動

(1) ホームページでの広報

当財団における研究成果や研究助成情報、シンポジウム・講演会情報などを告知する。

(2) シンポジウム・講演会の開催

① 財団主導研究及び研究助成に係る成果報告会（予定）

日程：2025年11月21日（金）

開催場所：ザ・プリンスさくらタワー東京

内容：財団主導研究及び研究助成事業のうち、これまでに成果が得られた研究の成果報告、トークセッション

② その他、他団体との共催等の形で、当財団の活動を発表する。

（3）積極的な情報発信

当財団の活動内容ができるだけ多くの国民の目に触れるよう、プレスリリースなどを活用し、積極的に情報発信する

以上